

© EPODOC / EPO

PN - JP10211985 A 19980811
 PD - 1998-08-11
 PR - JP19970046847 19970127
 OPD- 1997-01-27
 TI - DISPOSABLE SUBDIVIDING BAG FOR POWDER MILK
 IN - DOI NORIKO
 PA - DOI NORIKO
 IC - B65D85/80 ; B65D33/00 ; B65D33/25

© WPI / DERWENT

TI - Disposable quantity measuring bag for storing predetermined quantity of infant milk powder - has cutting line, formed across cylindrical outlet, which is torn to open cylindrical outlet
 PR - JP19970046847 19970127
 PN - JP10211985 A 19980811 DW199842 B65D85/80 003pp
 PA - (DOIN-I) DOI N
 IC - B65D33/00 ; B65D33/25 ; B65D85/80
 AB - J10211985 The bag a body that stores predetermined quantity of infant milk powder. An inclining section (3) and a cylindrical outlet (4) is formed at one side of the bag body. An introduction opening with a sealing section (1) and a zipper (2) are formed at the other end of the bag body.
 - A cutting line (5), which is torn to open the cylindrical outlet, is formed across the cylindrical outlet. An indicating body, which displays the feeding time and the milk volume to be mix, is attached to the external of the bag body. The cylindrical outlet is insertable into the opening of a nursing bottle.
 - ADVANTAGE - Simplifies and expedites mixing of milk. Does not require carrying entire milk container, when e.g. travelling, spending time out of house, thereby offering convenience to mothers. Is inexpensive.
 - (Dwg.1/6)
 OPD- 1997-01-27
 AN - 1998-489229 [42]

© PAJ / JPO

PN - JP10211985 A 19980811
 PD - 1998-08-11
 AP - JP19970046847 19970127
 IN - DOI NORIKO
 PA - DOI NORIKO
 TI - DISPOSABLE SUBDIVIDING BAG FOR POWDER MILK
 AB - PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a disposable subdividing bag for powder milk which is not bulky and can carry powder milk in large quantities by providing an inclined part on each of the opposite sides of the lower part of a dampproof bag, forming the lower portions of the inclined parts into a cylindrical outlet port, and providing a cutoff line in the outlet port.
 - SOLUTION: A seal 1 is provided at the upper opening of a dampproof bag and a zipper 2 is provided at the lower part of the seal 1. And an inclined part 3 is provided on either side of the lower part of the bag to allow milk to easily flow out. A cylindrical outlet port 4 of such magnitude as to be inserted into the mouth of a feeding bottle is provided beneath the parts 3 and a cutoff line 5 is provided in the port 4 so that the port 4 can be easily cut off only by hand to provide an outlet for powder milk. And date 6 for entering the date, on which powder milk is measured and sealed, and the amount of powder milk, and letters for c.c 7 are printed. When in use, the bag is turned upside down and the port 4 is cut off along the line 5 to provide an outlet for powder milk and the outlet is inserted into the mouth of a properly inclined feeding bottle and the bottle is returned to its normal position to allow the powder milk to fall down into the bottle.
 I - B65D85/80 ; B65D33/00 ; B65D33/25

THIS PAGE BLANK (USPTO)

Invention (c) 93-95,102,104

Ky1

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-211985

(43) 公開日 平成10年(1998) 8月11日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

B 6 5 D 85/80

B 6 5 D 85/80

33/00

33/00

A

33/25

33/25

A

審査請求 未請求 請求項の数 3 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-46847

(71) 出願人 597029000

土井 規子

埼玉県川口市芝1丁目44番13号

(22) 出願日 平成9年(1997) 1月27日

(72) 発明者 土井 規子

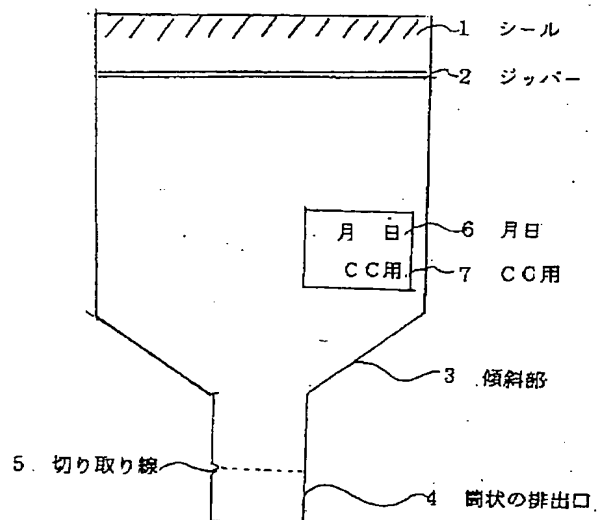
埼玉県川口市芝1丁目44番13号

(54) 【発明の名称】 使い捨て粉ミルク小分け袋

(57) 【要約】

【課題】 乳幼児に飲ませる粉ミルクを一回ごとに小分けして保管し使用後は廃棄できる容器

【解決手段】 密閉可能な防湿袋に、粉ミルクを計量スプーンにて量り入れられる上開口部を設け、調乳時に粉ミルクを出しやすくするために防湿袋の下部に傾斜部(3)と筒状の排出口(4)を設けたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】密封可能な開閉機構を有する防湿性の袋よりなり任意の哺乳容器に挿入可能な排出口と、排出口に向けて収束するような傾斜部と、切り取ることで排出口が開くように切り取り部を設けたことを特徴とする使い捨て粉ミルク小分け袋。

【請求項2】内容量を表記する表記部を有することを特徴とする請求項1記載の使い捨て粉ミルク小分け袋。

【請求項3】内容物を封入した日付を表記する表記部を有することを特徴とする請求項1又は請求項2記載の使い捨て粉ミルク小分け袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は乳幼児に飲ませる粉ミルクをあらかじめ計量し保管する小袋に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来より粉ミルクをあらかじめ計量して保管するプラスチックケースがあった。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】これは次のような欠点があった。

(イ)プラスチックケースでは外出時などバックの中にかさばる。

(ロ)使用後からになったプラスチックケースを持ち帰る必要がある。

(ハ)洗浄後完全に乾燥していないと再び使用できない。

本発明は、以上の欠点を解決するためになされたものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】防湿袋の上開口部にシール(1)を設け、シール(1)の下部にジッパー(2)を設ける。防湿袋の下部左右には傾斜部(3)を配し、傾斜部(3)の下部は筒状の排出口(4)にして、筒状の排出口(4)部に切り取り線(5)を設ける。また防湿袋表面には、月日(6)とCC用(7)の文字を印刷する。本発明は、以上の構成よりなる使い捨て粉ミルク小分け袋である。

【0005】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態について説明する。図1に示すように防湿袋の上開口部にシール(1)を設け、シール(1)の下部にジッパー(2)を設ける。なお開閉機構においては図2に示すようにジッパーだけの構造でも可能である。その他に図3に示すようにシール(1)部を有する折り返し片を利用する手段も考えられる。防湿袋の下部左右にはミルクが出やすいように傾斜部(3)を配する。なお傾斜部については図4に示すように片側だけの傾斜のみでも可能である。

傾斜部(3)の下部は哺乳びんの口に差し込める大きさの筒状の排出口(4)を設ける。筒状の排出口(4)には、ミルク調乳時に粉ミルクの出口を作る為に手だけで簡単に切り取りができるような切り取り線(5)を設ける。又、粉ミルクを計量して封入した月日と量を忘れないように書き込む為に月日(6)とCC用(7)の文字を印刷する。本発明は以上のような構造で、これを使用するときは一回の授乳に必要な量の粉ミルクを、粉ミルク添付のスプーンにて計量し、防湿袋の上開口部より入れた後ジッパー(2)にて閉じる。閉じた後でもジッパー式になっている為粉ミルクの増減が自由にできる。

又、外出時などは誤ってジッパー(2)部が開いてしまうことのないようにシール(1)を使用する。袋詰めした月日と何CC用の量の粉ミルクを封入したのかを月日(6)部とCC用(7)部にペン等で記入する。調乳時には本発明品を上下逆さにし、図5に示すとおり切り取り線(5)を切り取り、粉ミルクの出口を作る。次に図6に示すように筒状の排出口(4)を適度に傾けた哺乳びんの口に差し込み、正位置に戻すことにより粉ミルクが哺乳びんの中へ落ちる。そこへ適量のお湯を注ぎミルクを作る。調乳後、からになった本発明品はゴミとして捨てる。

【0006】

【発明の効果】本発明を使用することによって、母親は割安な価格で購入できる大容量かん入りの粉ミルクを、あらかじめ自分の子供が一回の授乳に必要な量を計量し封入しておくことで、夜間の授乳時などおなかがすいて子供がぐずっている時でも、手早く調乳することができる。特に旅行やちょっとした外出時には現在市販されているプラスチック製のものと違い、かさばらずに大量の粉ミルクを持ち運ぶことができ、使用後、本発明品はゴミとして捨ててしまえばよく、持ち歩く荷物がいろいろと多い育児中のお母さんの為に使い捨てのできる本発明品は大変便利である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の正面図

【図2】他の開閉機構を示す図

【図3】他の開閉機構を示す図

【図4】他の傾斜形態を示す図

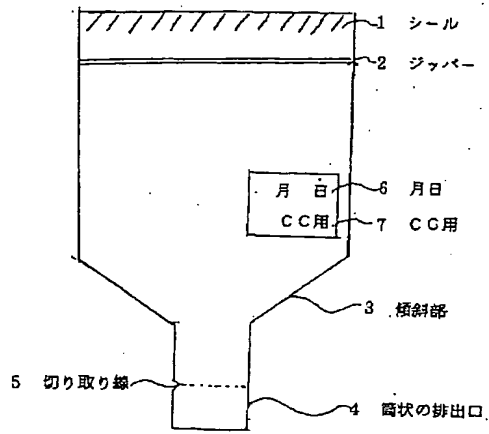
【図5】使い方を示す図

【図6】使い方を示す図

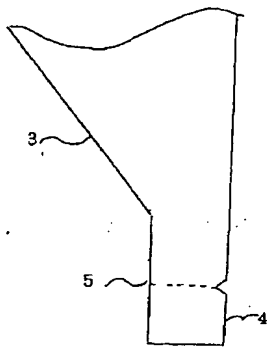
【符号の説明】

- 1 シール
- 2 ジッパー
- 3 傾斜部
- 4 筒状の排出口
- 5 切り取り線
- 6 月日
- 7 CC用

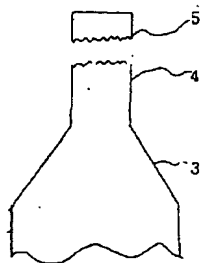
【図1】



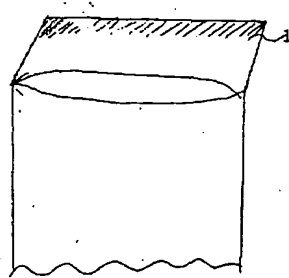
【図4】



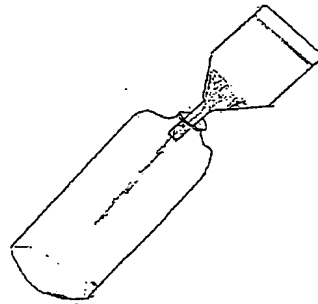
【図5】



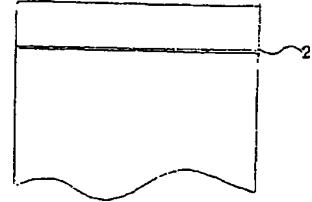
【図2】



【図6】



【図3】



THIS PAGE BLANK (USPTO)